



## 展望広がるカルスト台地と花の山

霊仙山は、鈴鹿山脈の北端に位置し、石灰岩からなる山で、頂上では360度のパノラマが広がり、琵琶湖や伊吹山はもちろん、白山や伊勢湾、時にはアルプスの山々までも見渡すことができます。

花も多く、田中澄江の「花の百名山」にもあげられ、早春のフクジュソウから、ミスミソウ、ニリンソウ、ヤマシャクヤク、イブキトリカブトなどを求めて多くの登山者が訪れます。

また、石灰岩からなる霊仙山は、カレンフェルトやドリーネなどカルスト台地特有の地形を見ることができます。近くには「河内の風穴」があり、鍾乳洞の中を散策することもできます。

霊仙山の名からわかりますように、周囲の山や峰には、経塚山や阿弥陀岳などがあり、周辺の山麓には宗教的な雰囲気がただよっています。

### 霊仙山の概要

霊仙山は、石灰岩のカルスト台地であり、地表の石灰岩が雨水によって溶かされ、複雑な形をした岩が林立するようなカレンフェルトや雨水や地下水に浸食（溶食）されてきたすりばち状の窪地であるドリーネなどの地形を見ることができます。

植物も石灰岩質を好む、フクジュソウやセツブンソウに出会うことができます。その地形や山頂からの眺望が素晴らしいことと、花の山としても有名です。山頂までには、

樽ヶ畑登山道、谷山谷登山道、河内登山道、柏原登山道、西南尾根道など多くの登山道がありますが、台風などの自然災害による登山道の崩れなどもありますので、事前に調べておくことが大切です。

また、山頂部は台地状に広いのでガスがかかっている時などは、現在地の把握等に十分注意しましょう。

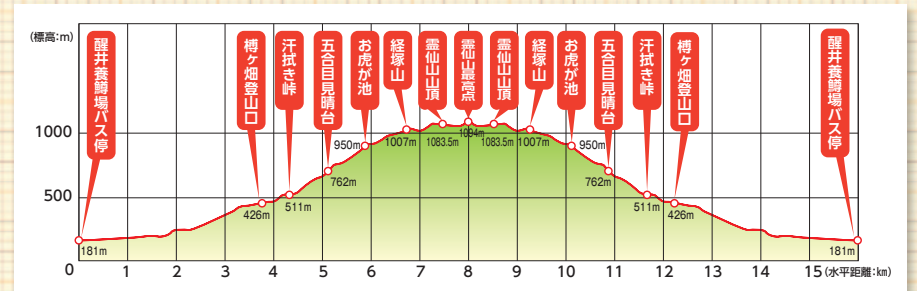
■標高／1,083.5m ■標高差／906.5m  
 ■地図／国土地理院 霊仙山・彦根東部



## コースのポイント



- A 登山口
- B 汗拭き峠
- C お虎が池
- D 霊仙山山頂
- E 霊仙山最高点



コースのバラエティ

霊仙山に登るコースには、いくつかのコースがありますが、ここでは2つのコースを紹介いたします。

季節や時間、体力、登山道の状況も考慮し、コースを選べば、いくつもの楽しみ方ができますので挑戦してみたいはいかがでしょうか。

① 樽ヶ畑コース

■行程 16km 6.5時間

醒井養鱒場でバスを降り、宗谷川沿いに林道を登っていきます。登山口には、東屋と案内板があり、ここでコースを確認し、登山道を進み樽ヶ畑の集落跡を通ると、山小屋「かなや」があるので飲物等を補給することができます。ここから本格的な登山道に入り、急なジグザグ道を登ります。汗拭き峠からは広葉樹の森が続きます。そのまま進むと5合目の見晴台に到着します。ここからも急なジグザグ道を登り、7合目に到着すると、前方が

開け霊仙山の山頂が見えてきます。お虎が池を通り、経塚山から南西方向に折り返し、カレンフェルトの中を進んでいくと、霊仙山に到着します。最高点はそこから南東の方向にあります。下山は、今来た登山道を引き返します。7合目からは急な下り坂が続きますので、注意が必要です。

② 霊仙山・西南尾根周遊コース

■行程 18.5km 8時間

汗拭き峠から落合集落に下り、今畑から登り、西南尾根を登り、霊仙山、経塚山を周遊し、汗拭き峠に帰るコースです。汗拭き峠から大洞谷沿いを下り、落合を経由し、今畑登山口から、植林地、ブナの混ざる登山道を登り、笹峠を過ぎて、急坂を登ります。急坂を登り、近江展望台、南霊岳を経由し、霊仙山最高点を目指します。霊仙山から経塚山、見晴台を経由し、汗拭き峠に戻ります。

地元のおすすめ

醒井地藏川

中山道の宿場町として栄え、今も古い町並が残る醒井宿に流れる清流で、7~8月頃に、清流に咲く梅の花に似たバイカモが有名です。



■所在地/米原市醒井  
■電話/0749-58-2227(米原観光協会)

醒井水の宿駅

米原市の観光の拠点でJR醒ヶ井駅前にあり、野菜や果物、観光土産や記念品などをそろえた特産品販売所です。



■所在地/米原市醒井688番地10  
■電話/0749-54-8222

コラム

御池岳

御池岳は、山頂部に広大なカルスト台地が広がっており、名前の由来となっているドリーネに水が溜った池が点在しています。花の百名山でもあり多くの花を見ることができます。



河内の風穴

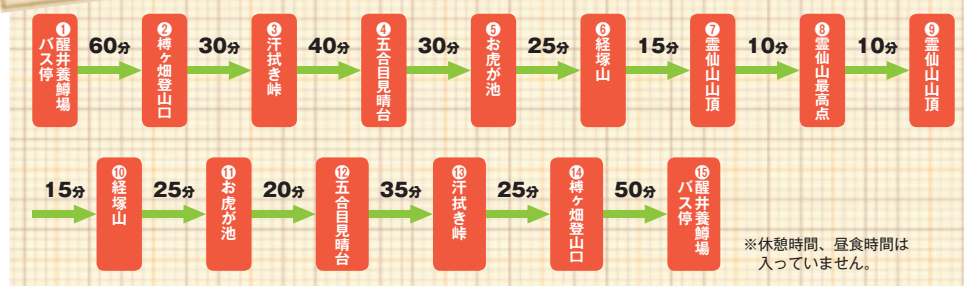
霊仙山のカルスト地帯にある鍾乳洞で、入口は高さ1mと小さいですが、洞内は3層構造で小洞が複雑につながっており、総面積1,544㎡と広く、関西でも有数の鍾乳洞といわれています。



コースマップ



コースタイム



**お問合せ** 多賀観光協会 TEL 0749-48-2361  
米原観光協会 TEL 0749-58-2227 (土日定休)